



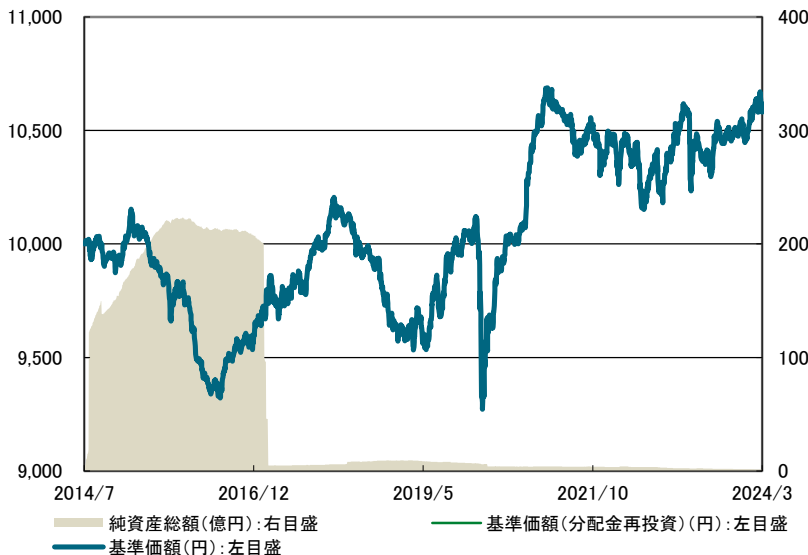
# ブルーベイ クレジットLSファンド(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2014年7月8日

作成基準日 : 2024年3月29日

## 基準価額の推移



※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。  
 ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。  
 ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

## 基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	10,580 円	- 58 円
純資産総額	1.31 億円	- 0.08 億円

## 期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	-0.55%
3ヵ月	1.28%
6ヵ月	0.87%
1年	2.14%
3年	-0.40%
設定来	5.80%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

## 分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 0 円

決算期	2021年4月	2022年4月	2023年4月
分配金	0 円	0 円	0 円

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

## 組入投資信託証券の状況

投資信託証券	比率
BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY	98.39%
マネープールマザーファンド	0.01%
その他	1.60%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

### <本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様 に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。



# ブルーベイ クレジットLSファンド(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2014年7月8日

作成基準日 : 2024年3月29日

## BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund — クラスS-JPYの資産の状況

### 特性値

金利デュレーション	-2.00
スプレッド・デュレーション	0.81
うちソブリン債	0.62
うち社債	0.19
最終利回り	5.15 %
銘柄数	213
発行体数	116
クーポン	4.38 %

- ※ 「金利デュレーション」とは、債券価格の金利変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。
- ※ 「スプレッド・デュレーション」とは、債券価格のスプレッド(クレジット債利回りと国債利回りの差)変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほどスプレッド変動に対する債券価格の変動が大きくなります。
- ※ 左表の「金利デュレーション」、「スプレッド・デュレーション」はポートフォリオの感応度(変動率)を表しています。
- ※ 最終利回り(税引前)は、コーラブル債など債券にオプション等が内包されている債券については、計算される期待利回りのうち、最も低いものを対象としています。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。
- ※ 各特性値は、純資産総額に対する値です。

### 格付別構成比

AAA	0.40%
AA	2.86%
A	15.93%
BBB	54.16%
BB	13.19%
B	1.79%
CCC以下	0.00%
無格付	4.92%
キャッシュ・その他	6.76%

- ※ 対純資産総額比です。
- ※ 格付はムーディーズとS&Pのうち、下位の格付を採用しています。

### ネット通貨エクスポージャー

通貨	比率
米国ドル	3.43%
日本円	1.90%
ブラジル・リアル	0.95%
韓国ウォン	0.91%
スイス・フラン	0.05%
ハンガリー・フォリント	0.01%
チェコ・コルナ	-0.00%
ポーランド・ズロチ	-0.01%
チリ・ペソ	-0.02%
オフショア人民元	-1.00%
メキシコ・ペソ	-1.00%
英国ポンド	-1.20%
コロンビア・ペソ	-1.93%
ユーロ	-2.18%
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

※ 対純資産総額比です。

### 組入上位5銘柄

	銘柄名	国・地域	セクター	比率
1	MBONO 5 1/2 03/04/27	メキシコ	国債	4.88%
2	MEX 4 03/15/2115	メキシコ	国債	2.06%
3	V 1 1/2 06/15/26	米国	テクノロジー	1.57%
4	ICEGB 4 1/2 02/17/42	アイスランド	国債	1.48%
5	BNP 1 3/8 05/29 REGS	フランス	銀行	1.16%

- ※ 対純資産総額比です。
- ※ 「BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund — クラスS-JPY」の資産内容は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが、RBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドからの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



# ブルーベイ クレジットLSファンド(SMA専用)

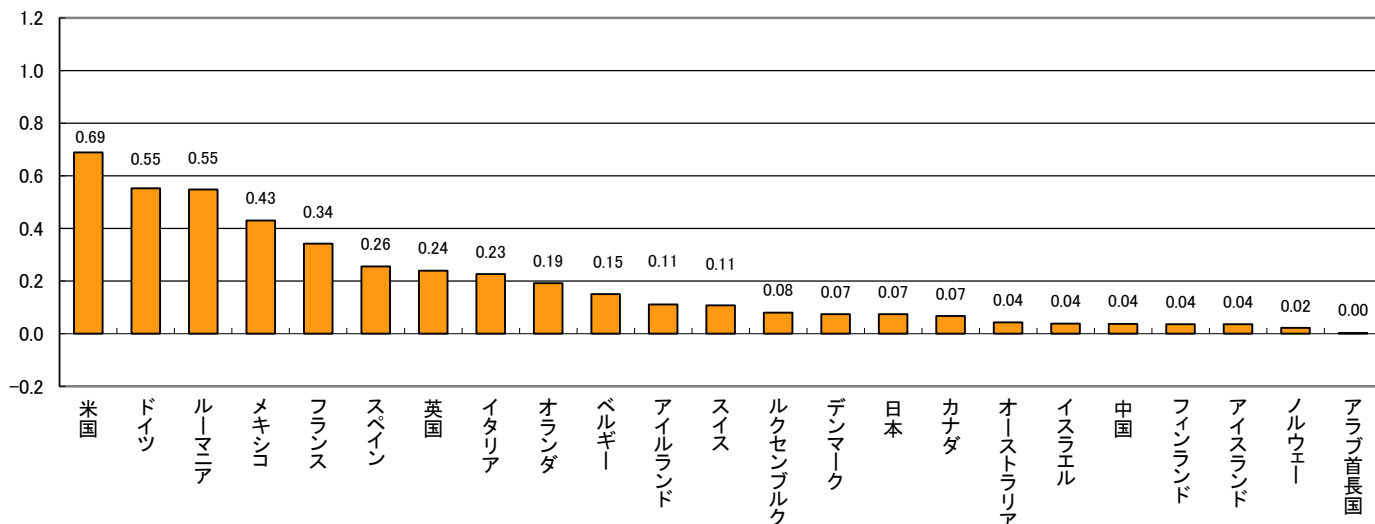
追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2014年7月8日

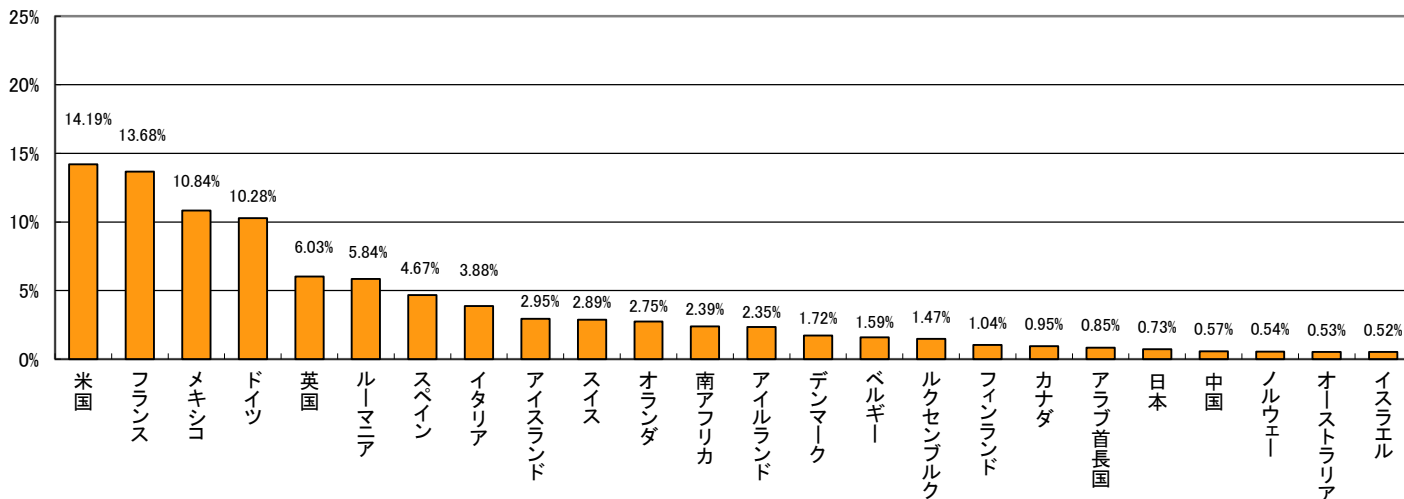
作成基準日 : 2024年3月29日

## BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund — クラスS-JPYの資産の状況

### 国・地域別スプレッド・デュレーション構成



### 国・地域別構成比



※ 対純資産総額比です。

### ファンドマネージャーのコメント

#### 【市場動向】

3月の金融市場では、主要国債利回りは概ね低下しました。米国では、物価指標が上振れたものの、FOMC(米連邦公開市場委員会)で年内の利下げ見通しが保持されたことから、年央に利下げが開始されるとの見方が維持され、金利は低下しました。欧州では、域内景気の低迷やスイス国立銀行の利下げなどを背景に、金利は低下しました。また、社債スプレッドは欧米ともに縮小しました。

#### 【運用実績】

ポートフォリオのリターンは、マイナスとなりました。社債戦略、国債戦略がプラスに寄与した一方、金利戦略、通貨戦略はマイナスに影響しました。社債戦略では、社債スプレッドが縮小する中、クレジット・リスクを高めていたことがプラスに寄与しました。国債戦略では、ルーマニアやメキシコのロング・ポジションがプラスに寄与しました。金利戦略では、英国金利のショート・ポジションなどがマイナスに影響しました。通貨戦略では、日本円のロング・ポジションなどがマイナスに影響しました。

※ 「BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund — クラスS-JPY」の資産内容は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが、RBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドからの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



## ブルーベイ クレジットLSファンド(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2014年7月8日

作成基準日 : 2024年3月29日



### ファンドの特色

- ブルーベイ・ファンズ・マネジメント・カンパニー・エスエーが運用する円建外国投資信託証券「BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY」(以下「主要投資対象ファンド」という場合があります。)を主要投資対象とします。
- 主要投資対象ファンドの実質的な運用は、RBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが行います。

### 投資リスク

#### 《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。  
従って、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様に帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

#### 【金利変動リスク】

債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

#### 【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。なお、主要投資対象ファンドにおいて、外貨建資産について、為替予約を活用し、為替変動リスクの低減を図る場合がありますが、完全にヘッジすることはできませんので、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジを行う通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のコストがかかりますが、さらに需給要因等によっては金利差相当分を上回るコストがかかる場合があることにご留意ください。

#### 【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

#### 【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、又はそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。

#### 【ヘッジファンドの運用手法に係るリスク】

主要投資対象ファンドにおいては、直接もしくは実質的に現物有価証券、デリバティブや為替予約取引等の買建てや売建てによりポートフォリオを組成することがあり、買い建てている対象が下落した場合もしくは売り建てている対象が上昇した場合に損失が発生し、ファンドの基準価額に影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。また、主要投資対象ファンドの純資産総額を上回る買建て、売建てを行う場合があるため、主要投資対象ファンドの基準価額は現物有価証券に投資する場合と比べ大きく変動することがあり、投資元本を割り込むことがあります。

ヘッジファンドのパフォーマンスは、通常、運用者の運用能力に大きく依存することになるため、市場の動向に関わらず、損失が発生する可能性があります。

#### 【ブローカーの信用リスク】

主要投資対象ファンドにおいては、直接もしくは実質的にデリバティブや為替予約取引等を行う場合があります。ブローカーの債務不履行等によって、ブローカーで保管されている証拠金の一部又は相当の額が失われる可能性や契約が履行されない可能性があり、ファンドが大きな影響を被る可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

#### 《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。  
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。  
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込が発生し短期間で換金代金を手当てする必要性が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。  
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止、取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。





## ブルーベイ クレジットLSファンド(SMA専用)


追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2014年7月8日

作成基準日 : 2024年3月29日

### 委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号  
 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
 ホームページ : <https://www.smtam.jp/>  
 フリーダイヤル : 0120-668001 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)



**SMTAM投信関連情報サービス**  
 お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。  
※LINEご利用設定は、お客様のご判断をお願いします。  
 ※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ[SMTAM投信関連情報サービス利用規約]をご確認ください。

### 販売会社

商号等	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。